

- 問1 第二次世界大戦後、自分たちの国のことは自分たちで決めるという考え方のことを何という？
- 問2 1975年に第1回となる首脳会議が初めて開催された国はどこ？
- 問3 1970年代に日本を襲ったエネルギー価格の高騰による混乱を何という？
- 問4 高度経済成長期に、都市部への人口集中によって発生した深刻な混雑や居住環境の悪化を指す言葉を何という？
- 問5 朝鮮特需によって経済が急速に回復し、その後の日本が遂げた目覚ましい経済発展の期間を何という？
- 問6 アメリカを中心とする資本主義陣営と、ソ連を中心とする社会主義陣営が対立した、第二次世界大戦後の国際的な状態を何という？
- 問7 1947年に実施され、引揚者の帰還などにより戦後直後の日本国内で急増した人々の数を把握するために行われた調査を何という？
- 問8 第二次世界大戦後、アメリカを中心とする資本主義陣営と激しく対立した、社会主義陣営の中心国を何という？
- 問9 1960年にアフリカで多数の国が独立を果たし、そのように呼ばれるようになった出来事を何という？
- 問10 日本が核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」とする方針を何という？
- 問11 世界主要国の首脳が集まり、経済問題を中心に議論する国際会議を、通称サミットといいますが、正式名称を何という？
- 問12 1950年代半ばから1970年代初めまで続いた、日本の経済が急速に発展した時期を何という？
- 問13 1954年にアメリカが水爆実験を行い、日本の第五福竜丸が被爆した場所を何という？
- 問14 戦後、地主から土地を買い上げて小作人に安く売り渡すことで、農村の民主化を図った政策を何という？
- 問15 中華人民共和国の成立により激化した、アメリカとソ連を中心とする二大陣営による国際的な緊張状態を何という？
- 問16 第二次世界大戦後、アメリカとともに冷戦の中心となった社会主義国家はどこ？
- 問17 ベトナム戦争を背景に、東南アジア諸国の協力と経済発展を目指して1967年に結成された組織を何という？
- 問18 1970年、日本で初めて国際博覧会として開催され、科学技術の進歩を世界に示すきっかけとなった出来事を何という？
- 問19 1956年の国連加盟よりも後に改定され、世論を二分する大きな反対運動も起きた条約を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 民族自決	第二次世界大戦を経て、植民地支配を受けていたアジアやアフリカの地域で、独立を求める運動の柱となりました。自国の領土や政治体制を外部からの干渉を受けずに決める権利を指します。
問2	答え フランス	第1回サミットは、フランス大統領ジスカールデスタンの提唱により、パリ近郊のランブイエで開催されました。当時の参加国は6カ国で、後に日本やカナダなどが加わり現在の枠組みの基礎が築かれました。
問3	答え 石油危機	エネルギーの多くを石油に頼っていた日本経済は深刻な打撃を受け、物価が急激に上昇する「狂乱物価」と呼ばれる状況になりました。この影響で戦後初めてマイナス成長を記録しました。
問4	答え 過密	この急激な人口移動により、都市部では住宅不足、地価の高騰、交通渋滞などが生じました。これが「過密問題」です。一方で、送り出した地方側では労働力不足や高齢化が加速する「過疎問題」が同時に進行しました。
問5	答え 高度経済成長	1955年頃から1973年の石油危機まで、日本は年平均10%に近い高い経済成長率を維持しました。三種の神器（白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫）が普及し、人々の暮らしは大きく豊かになりました。
問6	答え 冷戦	核兵器を保有する米ソ両大国が直接戦争をすれば人類の破滅を招くため、直接的な武力衝突は回避されましたが、朝鮮戦争やベトナム戦争などの代理戦争を通じて、世界各地で緊張状態が続きました。キューバ危機は、この対立が最も核戦争に近い緊張状態に達した出来事の一つです。
問7	答え 国勢調査	1947年に行われた国勢調査は、戦後の社会状況を正確に把握する役割を果たしました。この調査により、食糧難や住宅不足などの社会問題を解決するための政策が練られました。
問8	答え 冷戦	「冷戦」とは、両陣営が核兵器などで互いに直接戦うことは避けつつも、軍事同盟を競い、各地で代理戦争を繰り返した緊張状態を指します。互いの体制を維持・拡大するために激しく政治的に対立し、世界中で影響力を及ぼしました。
問9	答え 17	1960年、アフリカ大陸において一度に17もの国々が独立を達成しました。これによりアフリカの地図は大きく塗り替えられ、国際政治におけるアフリカ諸国の存在感が飛躍的に高まりました。
問10	答え 非核三原則	非核三原則は、日本が核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」とする政策です。この方針は政府の公式な見解として示され、核廃絶を目指す姿勢を国際社会に示す役割を果たしてきました。
問11	答え 先進国首脳会議	先進国首脳会議（サミット）は、日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダなどの首脳が集まり、経済情勢だけでなく、政治、環境、エネルギーなどの世界が直面する重要課題を話し合います。特定の憲章を持つ国際機関ではなく、非公式な首脳の意見交換の場という性格を持っています。
問12	答え 高度経済成長期	重化学工業を中心に生産が拡大し、国民の所得も大幅に上昇しました。この時期、国民生活は大きく豊かになり、家庭電化製品が急速に普及しました。
問13	答え ビキ二環礁	1954年、アメリカが太平洋のビキ二環礁で行った水爆実験により、付近で操業中であった日本の遠洋マグロ漁船「第五福竜丸」が放射能を浴びる被災事件が発生しました。乗組員は深刻な健康被害を受け、この事実は核の恐ろしさを日本国民に強く認識させることとなりました。
問14	答え 農地改革	GHQの指令に基づき、政府が地主から土地を強制的に買い上げました。その土地を、それまで小作人として働いていた人々に安く売り渡しました。これにより多くの農民が自作農となり、貧富の差が縮まりました。
問15	答え 冷戦	この対立は軍事的な衝突こそ避けていましたが、政治、経済、軍事、科学技術などあらゆる面で激しく競い合う状況でした。特に中華人民共和国の成立により、アジアでも社会主義が拡大したことは、西側諸国に大きな衝撃を与えました。
問16	答え ソ連	アメリカは資本主義と自由主義を、ソ連は社会主義と計画経済を掲げ、世界を二つの勢力圏に分割して競い合いました。これが「冷戦」です。直接戦うことは避けましたが、代理戦争や軍事同盟を通じて世界中が緊迫した状態に置かれました。
問17	答え ASEAN	1967年、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5か国によって「ASEAN（東南アジア諸国連合）」が結成されました。当初は反共的な側面もありましたが、次第に経済協力の枠組みとしての性格が強まりました。
問18	答え 大阪万博	正式名称は日本万国博覧会で、世界中の国々が参加し、最新の技術や文化を紹介しました。多くの日本国民が来場し、科学技術に対する関心が高まりました。
問19	答え 日米安全保障条約	1960年に改定された新条約では、アメリカの日本防衛義務が明記されました。しかし、日本側にも基地を提供する義務が残り、アメリカが日本の同意なしに軍事行動を取る可能性があることなどが大きな議論を呼びました。